

図説 浄土宗の書式

第一部 案内文・表白の書式・文例

- 第一章 年中行事に関わる案内
- 第二章 寺院行事などに関わる案内
- 第三章 表白などの書式

第二部 名号・揮毫の書式

- 第一章 名号の書式
- 第二章 跋文の書式
- 第三章 碑文などの書式
- 第四章 揮毫の書式
- 第五章 写真解説

第三部 揭示物・仏具の書式

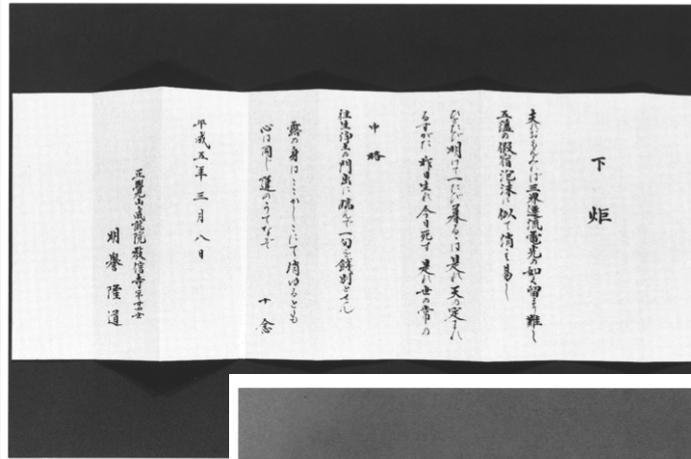
- 第一章 揭示伝道
- 第二章 仏具などの書式
- 第三章 高札・棟札・お守りの書式
- 第四章 三折などの書式
- 第五章 帳面・金封の書式

第四部 塔婆の書式

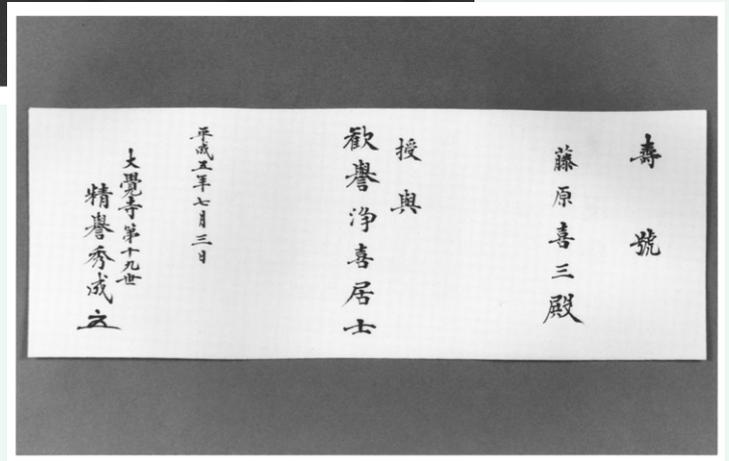
第五部 手紙その他の書式

- 第一章 手紙の文例
- 第二章 勸募の書式
- 第三章 過去帳の書式

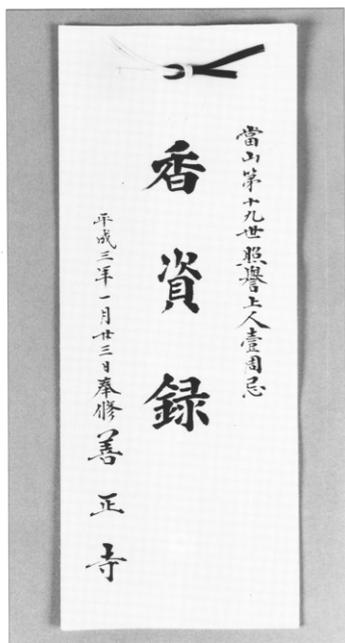
第六部 五重相伝の基礎と実践



「表白の書式」から



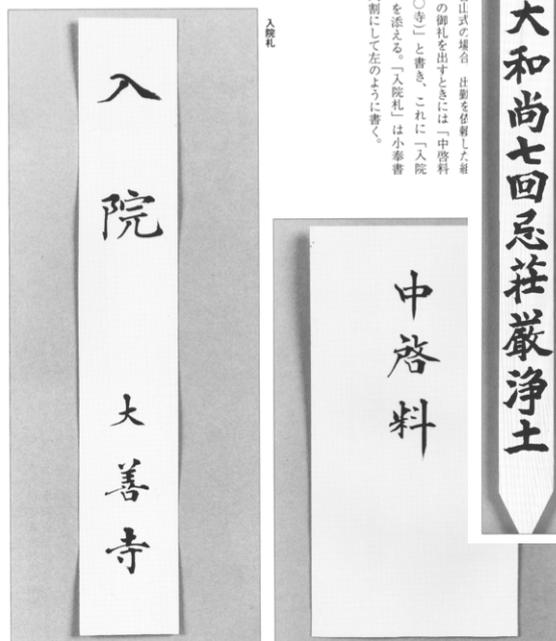
「壽号の書式」から



「三折などの書式」から

表書き書例（不祝儀の場合）
不祝儀のときは中央に「香資録」部に「当山第〇世〇尊上人〇回忌」に年月日と寺院名を入れる。

「帳面・金封の書式」から



「塔婆の書式」から

(二) 能化の例
能化の場合は前述した在家のものと同じように、はじめに姓字や名号を書く場合もあるが、一円相を書いてその下に戒名を書くことが多い。また能化の場合、「為」ではなく「薦」の字を用いることが多い。そして一番下には「莊嚴浄土」と書く、したがって書例で示したように「〇（一円相）薦〇蓮社〇尊上人〇阿精進〇大和尚〇〇回忌莊嚴浄土」となる。